

あいちの印刷

2

2011.2
No.471



春を待つ山々

も く じ

巻頭言 「効率と無駄」 ／マーケティング委員長 鬼頭則夫……………	3
平成23年新春 印刷と関連業界新年互礼会 ……	4
祝辞 チャレンジと業態変革を 一歩一歩進めよう!! ……………	8
身近な催し物のお知らせ……………	9
お知らせ 平成23年度／経済産業省関係 「税制改正」について ……………	10
日印産連新年交歓会 ……………	12
セミナーの案内 ……………	12
「第1回ポスターグランプリ」作品集……………	13
(株)光文堂主催「新春印刷機材展」 ／事務局だより ……………	14

巻頭言

「効率と無駄」

マーケティング委員長 鬼頭 則夫

年があけてもなお、経済も政治も混沌とした状況が変わりそうにない今、組合員の皆様方も大変苦勞されていることと思います。（当然僕もその一人ですが）

メディアの主導権が、紙媒体から電子媒体に移り変わり、いったいこの先どうなるのか、どう変わったらいいいのかなど、考えているつもりが、実は悩んでるだけで何も考えていないという自分にあきれている毎日です。

ただ、最近考えていることに「効率と無駄」ということがあります。

社内会議で「効率をよくしよう」「無駄をなくそう」なんていう言葉がよくでてきます。

言葉としてはとても気持ちがいいんだけど実際は…？

いろんな案が出てくるんですが、身勝手なことばかり。

どういうことかということ、自分の所属する部署だけの効率を求める話ばかりなんですね。

そうすると他の部署の効率を悪くする、ひどいときは、お客様に自分のとこの効率を押し付

けようとする始末です。

「ちょっと待ってよ！」「おかしくない？」そんな言葉を待っているんですがなかなか出てこない。仕方なく口出しをするしかなくなります。

「お客様の効率を良くするために僕たちは無駄をしましょう」こんなことを言ってしまいました。でも、意味は分かってもらえたような気がします。

聞いた話ですが、人間の23対の染色体に入っている遺伝子は、90%意味のない羅列で、遺伝情報を持っているのは10%もないそうです。

逆に大腸菌の遺伝子は無駄がなく、ほぼ100%遺伝情報を持っているそうです。そのため、大腸菌は何億年？もの間全く進化がなくてずっと同じ形をしているそうで、無駄のある遺伝子を持っている（人を含めて）生き物はどんどん変化していくそうです。

そんな話を聞くと、「無駄」も、なかなか捨てたもんじゃないよなって思ってしまう。皆さんはどういう風に考えますか？

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 アクス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業本部 TEL.(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX. (052) 220-5522

Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。

心よりお待ち申し上げております°
(紙営業本部 環境ソリューション事業部)

平成23年新春 印刷と関連業界新年互礼会



298名が参加
決意を新たにしてスタートを切る

新年互礼会会場

高井理事長が 正しい経営、減収増益の経営を説く

挨拶する高井理事長

「平成23年新春 印刷と関連業界新年互礼会」（主催：愛知県印刷工業組合／協賛：愛知県印刷産業団体連絡会）が、1月14日午後5時50分より、名古屋東急ホテルで開催されました。新年互礼会には来賓、関連業界の方々、組合員など総勢298名が参加しました。席上、主催者を代表して挨拶に立った高井昭弘理事長は、正しい経営、減収増益の経営の必要性を指摘する

とともに、昨年と今年の組合事業を説明、そして抱負と決意を語りました。

なお、新年互礼会に先立ち、午後4時より講演会が開催され、法政大学大学院政策創造研究科の坂本光司教授が「快進撃企業のぶれない経営の極意」をテーマに講演しました。講演会の参加者は267名でした。

役割分担で活躍した4副理事長



講演会の司会を務めた
鳥原副理事長



互礼会の司会を務めた
岡田副理事長



互礼会の開会の辞を述べた
木野瀬副理事長



互礼会の中締めを務めた
細井副理事長

来賓の方々



青山一郎課長
中部経済産業局産業部流通・サービス産業課



岩田勇二技監
愛知県産業労働部



岸上幹央部長
名古屋市市民経済局産業部

■新年互礼会

新年互礼会の司会は、岡田邦義副理事長が務めました。開会の辞を木野瀬吉孝副理事長が述べた後、主催者を代表して高井理事長が挨拶に立ち、「明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、夢の多い新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます」との言葉に続き、参加者に感謝の意を表しました。そして業界動向にふれ、次のように語りました。

「昨年は電子書籍のいろいろな端末が出てきて、話題になりました。皆様はこれをどのように捉えられたでしょうか。

また、昨年10月には『2010全日本印刷文化典in岐阜』が開催され、全印工連（全日本印刷工業組合連合会）の産業戦略デザイン室が10年先の印刷業界をデザインした、産業成長戦略提言『ソリューション・プロバイダーへの進化』を発表しました。

それには、10年先には市場規模が24%くらい減少するだろう、事業所数も32%くらい減少するのではないか、という予測が示されていました。この数字を見て、とても厳しく感じられた方もいらっしゃると思いますが、この数字は『楽観的に見る』『厳し

く見る』『中間で見る』という3つの見通しの中間の数字なのです。したがって厳しく見ると、もう少し厳しい数字になっていました。いずれにしても厳しい提言が出されたと思っています。

そのような中で、飛躍できる印刷会社の条件は、ソフト・サービスなどの新たな事業領域に取り組んで行くこと。そしてクライアントや社会が抱える諸問題を解決する『ソリューション・プロバイダー』として役割を果たして行くこと。産業戦略デザイン室が発表したのは、このような提言だと思います」

次に高井理事長は今年の売上に関して、「私はそれほど減少しないだろう、横ばいではないだろうか、と楽観的に見えています」と述べる一方で、「しかし、利益はどうかとなると、利益が上がって行く外的要因はほとんど見当たりません。厳しい状況で進んで行くだろう、と思っています」と利益に関しては厳しい認識を示しました。その上で「どのように利益を上げて行くのか、増益にもって行くのか」については、次のように述べました。

「やはり各企業が改善活動を通して、コスト削減に必死になって取り組む。また、正しい経営をして、利益の上がる正しい価格で、モノ、サービスをお客

OLIVER496SD

大型多色SDシリーズ 第一弾

菊全判4色
印刷機

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 35-2651(代) FAX.(0575) 35-2681

大阪営業所
〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146

ISO 9001・14001 国際規格
生産技術本部



乾杯の音頭をとった塚本久愛知県議会議員



様、マーケットに提供する。これを本当に真剣に考えなければいけない1年だと思っています」

そして、安易な安売り、無益な価格競争は「自爆」行為と指摘し、減収増益の経営の必要性を強調しました。

組合事業については「全印工連の力を借りて、各種の勉強会、セミナーを開催し、情報発信をしていきます。より一層の利用をお願いしたいと思います」と述べた上で、ポスターグランプリ、社員教育、愛知県印刷会館の件などについて説明しました。

このうち、昨年開催した第1回ポスターグランプリは、本年11月に愛知、岐阜、三重の3県で拡大、継続した形で開催することを明らかにしました。

社員教育については「業界で最も不足しているの

は社員教育です」という認識を示した上で、「4月に新入社員教育を組合が組合員企業様に代わり、徹底して、厳しく行うことを計画しています」と述べ、さらに組合が実施するこの新入社員教育には、すでに35名の申込みがあるが、まだ募集中であること、実施に当たっては厚生労働省の「ジョブ・カード制度」を活用することを説明しました。

愛知県印刷会館の件については、「築50年が経過し、老朽化が激しく、耐震性にも問題があります」と建て替えの理由を説明するとともに、「来年度中に建設できるように今、一生懸命、検討していますので、またお知恵をいただきたいと思っています」と協力を要請しました。

挨拶の最後に高井理事長は「今年も皆様のご協力

来賓祝辞

○中部経済産業局産業部流通・サービス産業課長 青山一郎氏

今年の干支は「卯(うさぎ)」、「辛卯」の年にあたります。「辛」という文字を紙に書き、逆にして裏返すと、このように「幸」に似た文字になります(実際に参加者に示す)。

辛いことをプラスに転化すると幸せに通じるということです。

言葉だけでは私の思いは通じにくく、それをこのように印刷物にして披露すると、一目で分かります。メッセージを人から人へ、あるいは重要な情報を伝えるというのは、印刷の力です。

特に情報の多くは目から入ってくると言われています。そういう意味で印刷を通じたコミュニケーションがどんどん広がって行くことを期待します。

○愛知県産業労働部技監 岩田勇二氏

「あいちの印刷」を拝見しました。そこには全印工連・産業成長戦略提言2010「ソリューション・プロバイダーへの進化」が載っており、キーワードは「ソリューション・プロバイダー」だと記されていました。

ソリューションですから課題解決。印刷に加えて周辺のサービスを形として、新しいビジネスモデルを創造して行くことだと私も理解しています。業態変革は簡単ではないでしょうが、そういう業態変革を目指して、愛印工様、一生懸命、いろいろな取り組みをされていると思います。



講演会と講師を務めた坂本光司法政大学大学院教授(円内)

のもとに、最善の努力を重ねて行きたいと思っていますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます」と決意を述べました。

続いて次の来賓4氏が祝辞（別項参照）を述べました。

○中部経済産業局産業部流通・サービス産業課長・青山一郎氏

○愛知県産業労働部技監・岩田勇二氏

○名古屋市市民経済局産業部長・岸上幹央氏

○全印工連会長・水上光啓氏

そういう取り組みを継続され、新しいビジネスモデルの創造により、大きく飛躍することを期待しています。

○名古屋市市民経済局産業部長 岸上幹央氏

印刷関連業界の皆様方には、環境問題などに関して企業にいろいろな影響が出ているのではないかと拝察します。

そうした問題に対処する上で課題等たくさんあると思いますが、これだけたくさんの方がお集まりですので、組合相互の連携をなお一層深められ、ビジネスチャンスの拡充、あるいはさまざまなチャレンジをしていただき、複雑多様化してきている産業ニーズに的確に対応して利益の向上を図っていただきたいと思います。そして飛躍していただくことを期待します。

この後、愛知県議会議員の塚本久氏（愛印工・顧問）の発声で乾杯し、祝宴に入りました。

祝宴で参加者は酒肴を満喫するとともに、名刺交換、情報交換を行い、歓談して交流を深めました。

祝宴は細井俊男副理事長の中締めにより、お開きとなりました。

■講演会

新年互礼会に先立ち、午後4時より講演会が開催され、法政大学大学院政策創造研究科の坂本光司教授が「快進撃企業のぶれない経営の極意」をテーマに講演しました。

坂本教授はベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者としても著名です。講演の中で坂本教授は、企業経営とは「5人に対する使命と責任を果たすための活動」と定義し、次の5人を挙げました。

- ①社員とその家族
- ②社外社員とその家族
- ③顧客
- ④地域住民
- ⑤株主・関係者

そして、なぜ第1に「社員とその家族」、第2に「社外社員とその家族」を挙げているかを説明しました。また、企業の業績は景気に関係ないと断言し、業績の低迷を不況のせいにするべきでないと注意を喚起しました。

（坂本教授の講演概要は次号で紹介予定です）



祝辞を述べる水上全印工連会長

祝辞

チャレンジと業態変革を 一步一步進めよう！！

全日本印刷工業組合連合会

水上 光啓 会長

今年は2011年。アッと言う間に2011年になってしまいました。「十年一昔」と言いますが、10年は一区切りですね。

昨年の2010年。やはり印刷も大きな節目の年であったような気がしてなりません。もちろん、経済も節目なのでしょう。だから、印刷も節目だと思います。

昨年は「電子書籍元年」と言われました。これは我々は避けて通ることはできません。しかし、どうでしょう、今年の5月に「iPad」が出てきました。すごかったですね、あの時は！そのまま押し切られてしまったらどうしよう、と思いましたが、今、どうですか。ちゃんと棲み分けができていますではありませんか。私はそれぞれのメディアは充分、棲み分けができていると思っています。

■産業成長戦略提言2010

そのような中で全印工連は昨年2つの大きな取り組みをしました。

1つは昨年10月に開催した「2010 全日本印刷文化典in岐阜」。そこで産業戦略デザイン室が産業成長戦略提言2010「ソリューション・プロバイダーへの進化」を発表しました。

一言で言うと、10年後の印刷のあり方を示したものです。標準的な中位のデータを見ると市場規模は24%

減少。現在、6,100社ある全印工連が想定していますが、それは既存のビジネスだけを前提にした数値です。ですから、チャレンジをすれば、新しいビジネスチャンスはいくらでもあるはずだと思います。

私たちは「業態変革！業態変革！」と言い続けてきました。その中のキーワードは「ワンストップサービス」です。印刷というのは「プリンティング」、印刷をするだけではありません。印刷をコアにして、企画・編集・印刷・製本を行い、全国に発送して、最後に効果まで測定する。

こういうワンストップサービスをするのです。ちなみに、アメリカでは1ドルの印刷の周りに6～8ドルの付帯サービスがあると言われています。日本も同じです。印刷産業は大きな可能性を秘めていると信じて前へ進みましょう。

そのために「産業成長戦略提言2010『ソリューション・プロバイダーへの進化』」（冊子）を読んでください。ちなみに私は3回読みました。それでも、まだ分からない部分があります。もっと読みたいと思っていますから、ぜひ読んでください。関連業界の方もぜひ読んでください。そして、それ（産業成長戦略提言2010「ソリューション・プロバイダーへの進化」）をベースにお話をしようではありませんか。将来を語ろうではありませんか。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

www.toyoink.co.jp

■全印工連特別ライセンスプログラム

もう1つは「全印工連特別ライセンスプログラム」です。

昨年の秋、全印工連とアドビ社を1つのパートナーと考えて、特別なライセンスプログラムを提供していただきました。大きな事業を展開することができました。まったく新しいビジネスです。

このライセンスプログラムを実行することによって、組合、組合員の皆様へ初めて具体的な「価格」という面でのメリットを提供することができました。

そしてコンプライアンスの面でもメリットがあります。コンプライアンスの問題は今までモラルの問題で片付けてきましたが、もうそうは行きません。法律上の問題です。ライセンスプログラムは著作権侵害のリスクを低減することができます。それが結果的にコンプライアンスと社会的な地位の向上につながります。

■チャレンジと業態変革

私は全印工連の会長に就任した時から、行動する組織でありたいと思っていました。今年の干支は卯(うさぎ)。一層、跳ねて回ります。そしてトライを重ねて行きたいと思っています。

組合員の皆様、各企業の皆様は、ぜひ社会に必要な存在となるように、ぜひチャレンジをしていただきたいと思います。そして将来、互いに成長して行くことになる業態変革を一步一步、進めようではありませんか。

今、我々は雨が降った後に発生した霧の中にいるような状態で、視界不良です。

しかし、この時がチャンスなのです。視界不良の時にしっかりと業態変革をコツコツと行い、準備をするのです。いずれ霧は晴れます。晴れたらすぐに上昇しましょう。お互いに一斉に急上昇しようではありませんか。

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
2月18日(金) 10:00~ 12:00	事業・行事 教育セミナー 「見える化」から始める収益改善 (パネルディスカッション) ところ ウィンクあいち 902会議室 パネリスト 佐竹一郎氏(大東印刷工業(株)社長) 松岡祐司氏 (株)アサプリホールディングス社長) 作道孝行氏(作道印刷(株)社長) コーディネーター 花房 賢氏 (JAGAT研究調査部チーフリサーチャー) 参加費：組合員1人1,000円、一般1人3,000円 ※参加費前納 ※申込みは愛印工組へ ※申込書は愛印工組ホームページよりダウンロードできます。
2月22日(火) 18:15~ 20:30	事業・行事 マーケティングセミナー 「業態変革への挑戦」 ところ ウィンクあいち 902会議室 講師 ①長澤 一成氏(株)耕文社社長) ②福田真太郎氏(株)真興社社長) ③吉田 茂男氏 (極東印刷紙工(株)社長室長) ※講師の各社は全印工連発行の冊子「業態変革への挑戦100選」に紹介されていますので、ご参照ください。 参加費：組合員1人3,000円、一般1人5,000円 ※参加費前納 ※申込みは愛印工組へ ※申込書は愛印工組ホームページよりダウンロードできます。
3月12日(土)	事業・行事 企業見学会 見学先 旭紙工(株) (大阪府松原市) 組合員1人3,000円(組合員外は受付けません) 定員30名 ※申込書は愛印工組ホームページよりダウンロードできます。

●身近な催し物のお知らせ(関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考
2月18日(金) ~19日(土)	事業・行事 中部地区印刷協議会 「平成22年度下期会議」 ところ キャッスルプラザ 全体会議13:05~ 分科会13:55~ 全体会議15:20~ 「2020年をデザインする~ソリューション・プロバイダーへの進化~」 交流会17:50
2月26日(土) 13:00~ 16:40	事業・行事 (株)日本印刷学会冬季印刷情報セミナー 「原点の印刷機上から品質向上」 ところ 東桜会館 会費:会員1人7,000円 (3名以上参加の場合は1人6,000円) 会員以外1人9,000円

なぜ、人材派遣はモトヤ?

印刷関連業務のスタッフを
必要なときに必要な期間だけ
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254 / 紹介事業許可番号 27-ユ - 030174

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■派遣職種■

- コピーライター ●デザイナー ●WEBデザイナー
- DTPオペレーター ●スキャナーオペレーター ●CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ●校正 ●印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合商社を目指す

 株式会社 **モトヤ**

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035名古屋 市 東区 黒門町 128 ☎(052)935-5315

大阪 〒542-0081大阪市 中央区 南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東京 〒104-0032東京都 中央区 八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

■お知らせ

平成23年度／経済産業省関係「税制改正」について

「法人税率の引き下げ」「中小軽減税率の引き下げ」 「グリーン投資減税の創設」「雇用促進税制の創設」など

平成22年12月16日「平成23年度税制改正大綱」が閣議決定しました。その中から経済産業省関係の税制改正を中心に、その概要を一部抜粋しお知らせします。なお、大綱の全文は下記のURLで公開されていますので、詳細はこちらを参照ください。
<http://www.meti.go.jp/maqin/downloadfiles/zeise23/101216a03j.pdf>

【法人実効税率の5%引き下げ】(法人税・法人住民税)

国際的に見て高すぎる法人実効税率を主要国並に引き下げるため、法人実効税率を5%引き下げる。これにより、中核的な製造拠点や研究開発拠点の海外流出を抑制し、国内投資を促進させることで、デフレ脱却・国内雇用の創出を図る。

〈現行〉 法人税率=30% 地方法人2税を含め、法人実効税率40.7%

〈改正後〉 法人税率=25.5% 地方法人2税含め、法人実効税率35.6%

*課税ベースが拡大される項目

特別償却の廃止・縮減(エネ革・事業革新廃止、立地促進法税制縮減)

準備金の一部廃止(特別修繕準備金)

研究開発税制の縮減(税制控除上限30%→29%)

減価償却の見直し、定率法250%→200%

繰越欠損金の使用期限 大法人に付き80%に制限(但し、繰越期間を7年から9年に延長)

貸倒引当金の一部廃止(非金融・大法人)

一般寄付金の損金算入限度額の引き下げ(適正化)

外国税額控除制度の見直し

【中小軽減税率の引き下げ】(法人税・法人住民税)

中小企業(資本金1億円以下)の所得金額のうち、年800万円以下の金額について適用される軽減税率を18%から15%に引き下げ。

中小企業の年800万円超の所得部分については、法人実効税率5%引き下げ。

〈改正概要〉

適応期間は3年間(平成25年度末まで)。中小法人の軽減税率について、現行の特例による税率を3年間の措置として18%から15%に引き下げると共に、現行の本則税率を22%から19%に引き下げる。

〈中小軽減税率引き下げの効果〉

約73万社に及ぶ多数の黒字中小法人における設備投資や雇用を促進。

所得800万円未満の52万社を効果的に支援。

財務状況が改善され、金融機関からの資金調達が円滑化。

赤字中小法人においても、将来の利益計上を目指して必死に経営に取り組む努力を促進する効果。

【経済成長及び雇用確保を実現するための制作税率の充実】

(1)「アジア拠点化推進税制」の創設(略)

(2)グリーン投資税制の創設(所得税・法人税・法人住民税・事業税)

平成22年6月に閣議決定された「エネルギー基本計画」及び「新成長戦略」を踏まえ、エネルギー安定供給の確保と低炭素成長社会の実現を目指す。そのため、三振の技術を駆使した効率的な省エネ・低炭素設備や再生可能エネルギー設備への投資(グリーン投資)を重点的に支援する「グリーン投資減税」を創設する。

〈グリーン投資減税の概要〉

エネルギー起源CO₂は異種打つ削減または再生可能エネルギー導入拡大に相当程度の効果が見込まれる設備などを取得した場合の30%特別償却または法人税額(所得税額)の7%特別控除(中小企業のみ)。据置期間:3年間(平成25年度末まで)。

なお、現行のエネルギー需給構造改革推進投資促進税制は廃止。

(3)事業用太陽光発電設備に係わる課税標準の特別措置(固定資産税)(略)

(4)雇用促進税制の創設(所得税・法人税・法人住民税・個人住民税)

「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」(平成22年9月10日閣議決定)を踏まえ、雇用を促進する観点から、企業の税負担を軽減する措置を講ずる。

〈改正概要〉

適応期間:3年間(平成25年度末まで)。当該年度中に従業員のうち雇用保険の一般被保険者の数を10%以上かつ5人以上(中小企業者などは2人以上)増加させるなどの要件を満たす事業主について、増加1人当たり20万円の税額控除ができる制度を創設する。(表参照)

〈具体的な手続き〉

①企業は事業年度開始2ヶ月以内に、目標の雇用増加数などを記載した雇用促進計画を作成し、ハローワーク

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市長区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

措置内容	
対象者	公共職業安定所の長に雇用促進計画の届出を行った事業主
要件	当該事業年度末の従業員のうち、雇用保険の一般被保険者の数が、前事業年度末に比して10%以上、かつ5人以上増加したこと等の公共職業安定所の長の確認を受けた場合。 ※ただし、中小企業者等については2人以上増加した場合。
控除額	増加した雇用保険一般被保険者の数×20万円の税額控除。
控除限度額	当期の法人税額の10%を限度。 ※ただし、中小企業者等については20%を限度。
適用期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日

※上記のほか、事業主都合による離職者がいないこと、当該事業年度における「支払給与額」が、前事業年度における支払給与額よりも一定割合増加すること、等が要件。

に提出→②事業年度終了2ヶ月以内にハローワークより雇用促進計画について確認を受ける→③ハローワークによって確認を受け、交付される雇用促進計画などの書類を確定申告書に添付することにより適応可能。

(4)地球温暖化対策のための税（石油石炭税の課税強化）（石油石炭税）

「エネルギー基本計画」（平成22年6月閣議決定）では、わが国の温室効果ガスの約9割を占めるエネルギー起源CO₂の2030年30%（90年比）削減を見込んでいる。これに必要な対策を中長期的に強化するため、石油石炭税に「地球温暖化対策のための課税の特例」を設け、各燃料のCO₂排出量に応じた税制を上乗せ。

税収はエネルギー対策特別会計のもとで、エネルギー起源CO₂の排出抑制に真に必要な対策の強化にあて、「新成長戦略」（グリーンイノベーション）の実現にも貢献。現下の厳しい経済情勢を踏まえ、税率引き上げは平成23年10月から足掛け5年に亘り3段階で実施。影響の大きなエネルギー集約産業や中小企業などには予算措置を含めきめ細かく配慮。

【その他の項目】

1) 新設

(1)中小企業の集積の再生（所得税・法人税・印紙税・事業所得税・個人住民税・法人住民税・事業税）

総合特別区域法（仮称）の特定に伴い、市区町村向けの高度化事業に供する土地などの譲渡所得の特別控除及び事業所税の非課税措置などの創設。

(2)排出ガス規制に適合した特定特殊自動車に係わる課税標準の特例措置の創設（固定資産税）

排出ガス低減効率を得るためには当該規制に適合した車の早期市場投入及び切り替えの加速化が重要であることを踏まえ、オフロード法に基づく平成23年基準適合者を新車規制適合日より先行して購入した者に対する固定資産税の減免措置を創設する。

2) 拡充（略）

3) 延長

(1)企業年金などの積立金に係わる特別法人税の撤廃（法人税、法人住民税）

退職年金など積立金に対する法人税の課税の停止措置について、適応期限を3年間延長する。

(2)中小企業の事業再生に伴う不動産取得税の軽減措置（不動産取得税）

収益性のある事業を有しながらも過剰な債務を負っている中小企業の事業再生を支援するため、譲渡される不動産に係わる不動産取得税を軽減する措置の適応期限を1年間延長する。

4) 縮減（略）

5) 廃止

(1)事業革新設備などの特別償却制度

(2)中小企業など基盤強化税制・経営革新計画・卸・小売業・サービス業・情報基盤・地域産業資源活用事業計画・脳将校など連携事業・教育訓練費（所得税・法人税・法人住民税・事業税）

(3)商工組合などの留保所得の特別控除

(4)特定の資産の買い替えの場合などの課税の特例（中小企業高度化事業）（所得税・法人税）

(5)特定の資産の買い替えの場合などの課税の特例（大気汚染防止法などの関連）（所得税・法人税）

(6)特定の資産の買い替えの場合などの課税の特例（農工法）（所得税・法人税）

(7)産業活力の再生及び生産活動の革新に関する特別措置法などに基づく不動産取得の軽減措置（不動産取得税）

6) 適正化（略）

御社の印刷工場になります

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました
-0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで-
- ◎菊全シルバースターでのページもの印刷もできます

 **大日印刷株式会社**
☎0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463

<http://www.p-dainichi.com> E-mail:mail@p-dainichi.com

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をばげみとして新たな未来へ-

- 印刷機材 ●製版機材 ●製本機材
- DTP関連機 ●その他印刷諸材料



株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

日印産連新年交歓会

日印産連猿渡会長と 経済産業省石黒商務情報政策局長の挨拶

(社)日本印刷産業連合会(猿渡智会長、日印産連)の新年交歓会が1月7日東京・虎ノ門のホテルオークラ「平安の間」で開催され、来賓、印刷・同関連業者ら約850人が新年の門出を祝いました。席上、猿渡会長は「柔軟な考えを持って、ビジネスモデルを見直していくことが印刷産業の重要な課題となる」と挨拶しています。また、経済産業省の石黒憲彦商務情報政策局長が祝辞を述べましたので、合わせて紹介します。

●猿渡会長の挨拶

「昨年、米国発の電子書籍事業がいよいよ日本でもスタートする、と年頭から騒がれていました。国内でのiPadの発売から、携帯電話、出版、印刷分野から多くの



猿渡会長



経済産業省・石黒局長

参入が報じられ、各社それぞれが電子書籍への取り組みを始め、電子書籍元年となりました。

ここ数年メディアの多様化が進みネット、モバイルの普及により印刷メディアからネットへという傾向は確実に進んでいます。ただ、書籍印刷、商業印刷にしても紙か電子化ということではなく、それぞれの特性を活かしたユーザーへのメリットを提供すべきでしょう。印刷業界が培ってきたノウハウは必ず必要とされるはずで

家電エコポイント制度、エコカー減税などの施策に

【セミナーの案内】

●教育セミナー

パネルディスカッション

「見える化から始める収益改善」

愛印工組教育委員会では、見える化を実践している企業の代表者を招き、自社の取り組みとそこに至る経緯、そして、経営理念を語っていただくとともに、適正競争に向けた業界への提言を行います。経営者・管理者は勿論ですが、社員の方々にも是非お聞きいただき、実践していただきたい内容です。

開催日時：平成23年2月18日(金)／10時～12時

会場：ウインクあいち9階902会議室

名古屋市中村区名駅4-4-38

TEL052(571)6131

〈パネリスト〉

佐竹一郎氏(大東印刷工業株代表取締役／全印工連教育・労務専門委員会委員長)

作道孝行氏(作道印刷株代表取締役／全印工連・教育・労務専門委員会副委員長)

松岡祐司氏(株アサプリホールディングス代表取締役／全印工連教育・労務専門委員会委員、愛印工組教育委員会委員長)

〈コーディネーター〉

花房賢氏(社団法人日本印刷技術協会研究調

査部チーフリサーチャー／全印工連教育・労務専門委員会特別委員)

参加費：全印工連組合員1人1,000円、一般1人3,000円

●マーケティングセミナー

「業態変革実践プラン 業態変革への挑戦」

開催日時：平成23年2月22日(火)／18時15分～20時30分

会場：ウインクあいち11階1101号室

〈講師〉

極東印刷紙工(株)社長室長吉田重雄氏

(株)真興社代表取締役福田真太郎氏

(株)耕文社代表取締役社長長澤一成氏

参加費：愛印工組組合員1人3,000円

一般 1人5,000円

〈講師企業紹介〉

極東印刷紙工(株) 既存のノウハウと人材の力で脱印刷の新規事業に成功。パッケージ印刷の会社が開発した「正直百年」とは。

(株)真興社 徹底した社内効率化とWEBシステムの導入で、「お客様の利益」を確保。受注型営業から新規顧客獲得型へ。

(株)耕文社 老舗の看板に頼る待ちの営業スタイルを改革。「長澤販促塾」を立ち上げ販促支援と印刷物のセット提案で成功。

(参加申込書は「愛印工組ホームページからダウンロードできます。是非ご参加ください。)

よって上向いた景気も一時的なものです。日本の産業界からはハイブリッドカー、スマートフォンなどのヒット商品が生み出されています。これらは、高いスペック、高い品質であるというだけでなく、顧客の真のニーズを探り当て、タイミングよく、安価に提供できたからこそヒットしました。顧客のニーズをいかにきめ細やかに把握するかが重要なかがわかります。

印刷会社は商品開発や広告宣伝など、新たな商品が世に出る前から顧客企業から相談されることが多くあります。そうした点から、真のニーズを見極めていくことが、印刷産業の発展に大きな効果をもたらすといえます。

一部では企業業績の回復傾向がみられるとの発表があるが、我々の業界はまだまだ厳しい状況が続き、多くの課題を残しながら新年を迎えています。

日印産連としては、これまでの環境問題、認定事業課題に加え、本年から市場環境の変化に対応していくかという課題に取り組んでいます。今秋には、新しい印刷業のこれからを示す『印刷産業ビジョン』を発表します。厳しい状況の中、会員企業が的確に市場変化を捉え、技術開発、商品開発を進め、業務拡大が図れるよう精度の高い情報を提供し、他産業に負けない競争力を発揮できるように、積極的に事業を進めていきます」。

●経済産業省石黒憲彦商務情報政策局長の祝辞

「印刷産業は典型的な受注産業であり、景気を良くすることが成長の鍵となります。我々としては『新成長戦略』として景気を良くし経済を成長させていこうとしており、現在、法人税率5%引き下げ、中小企業の軽減税率18%から15%への引き下げが決定しています。経済産業省としては中小企業のものづくり強化としての予算を組んでおり、資金繰り体制についても万全を期しています。我々の仕事は皆さんの事業関係を良くしていくことであり、今年も引き続き民主党政権の下で成長戦略と景気対策を実行していきます。

昨年のエポックメイキングとして電子書籍元年が上げられ、また、IT分野においてはクラウドコンピューティング元年としても話題になりました。この1年間の間に大きな技術革新が始まっており、このような変化の時に



「第1回ポスターグランプリ」作品集

昨年10月に開催しました「第1回ポスターグランプリ」の作品集が出来上がりました。作品集には、グランプリを始め、優秀賞、特別賞、協賛会社賞、および入選作品など、127点が収録されています。

作品集巻頭には高井昭弘理事長の刊行の挨拶、末尾には高北幸矢審査委員長の言葉とポスターグランプリ表彰式などが掲載されています。

「環境保護」をテーマとした作品に、いま一度触れることができる作品集になっています。

はさまざまな派生事業が発生します。電子書籍の中核を担うのは印刷産業であり、これから新たなビジネスモデルをつくっていけるかが正念場となるでしょう。皆さんとともに、印刷産業の新しい成長の輪を、どのように描いていけるか検討して行きたいと思います」。



The essentials of imaging

ヨニカミノルタに全てお任せください。

色校正フルラインアップ!



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

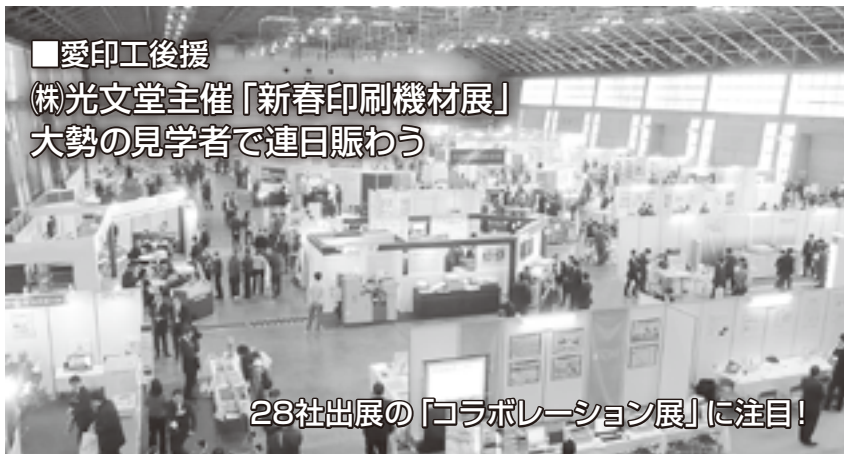


Falbard AQUA **新発売**



Pagemaster Pro 5500N

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 中部営業部：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F TEL.052-231-6277(代)



愛知県印刷工業組合が後援する新春恒例の「光文堂新春印刷機材展」が、1月21、22の両日、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）において開催された。

初日の9時半より会場入り口においてオープニングセレモニーが開かれ、主催する(株)光文堂讃岐秀昭社長の挨拶、高井昭弘愛印工理事長ら来賓の挨拶が行なわれた後、テープカットを行い展示会がオープンした。

機材展は、出展70社300小間の規模で開催され、各社より自慢の新鋭機を始め、関連機資材、ソフトなどが展示された。両日共に好天に恵まれ、大勢の見学者が詰め掛け、お目当ての製品の見学と情報収集に余念の無い見学者が目立った。また、併催されたコラボレーション展においても、展示製品の説明に真剣なまなざしで聞き入る姿が印象深かった。

(株)光文堂の発表によると、来場者数2,020社、8,300名が訪れた。

今回、(株)光文堂から新製品6機種が出展された。その中で特に注目を集めていたのが、高機能デジタルラベル印刷機「KBD XEIKON」である。デモンストレーションで説明のあった特色を紹介してみると、必要などきに必要なだけを生産できるジャストインタイム生産、多品種少量対応、宛名やナンバーリングなどのバリエーションデータに対応、印刷物の内容は同じでも表現方法が違うバージョン印刷、異なる内容の印刷物を連続して印刷ができる、などが強調された。また、環境に優しい独自開発のトナーについてもアピールがされた。生産性と印刷品質が同機の大きなポイントである。



会場風景「KBD XEIKON」

- ・タッチ式デジタルサイネージ「TOUCHANGE(タッチェンジ)」
- ・ダイレクトインクジェットプリンタ「KBD SUPER ダイレクト」
- ・フレキシ・レータープレス用版貼機「KBD 版ピタⅡ」
- ・ビジネスフォーム用全自動検査装置「KBD チェックマスターBF」
- ・シール・ラベル用全自動検査装置「KBD チェックマスターライト」



コラボレーション展

事務局だより

■平成23年新春「印刷と関連業界新年互礼会」を無事済ませることができました。大勢の皆様方に参加いただきお礼申し上げます。テーブルを囲んでのビュッフェスタイルの形式が定着し、親睦と情報交換に花が咲き、新春にふさわしい互礼会となりました。ただ、挨拶が長すぎるとか、いろいろご意見を頂戴しておりますので、次回開催の参考にさせていただきます。

■互礼会に合わせて行いました坂本先生の講演内容は、次号において詳細の予定です。ご期待ください。

色のチカラ

色彩の。

東京インキ株式会社

TEL 052-962-5771 FAX 052-951-0569

あいの印刷

No.471

平成23年2月10日発行

発行人 高井昭弘

編集 組織・官公需委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL <052> 962-5771

FAX <052> 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp